　FAX to 029-846-5505 CE-MVC研究会事務局(サステイナビリティ技術設計機構)宛

|  |
| --- |
| 0) CE-MVC研究会からの「プラスチック廃棄物管理・処理技術・サービス調査」補助の要否  　　　a) 　　UNEP-IETC調査登録補助を要する  　b) 　　自社で対応するので不要  　c)　　対応する気はない  以降は　a)の方のみ |
| 1) 登録する技術・サービスの名称 |
| 2) 技術・サービスの概要　(100-150文字) |
| 3) 技術・サービス情報の概要 |
| 4) 技術・サービスの図・写真　(可能なら別途メールでお送りください) |
| 5) 技術・サービスの説明資料・関連資料　(可能なら別途メールでお送りください)  　　　□　あり　　　　　　　　　　　□なし |
| 6) 御社会社名 |
| 7) Webサイト |
| 8) 住所、電話・ファックス番号、御担当窓口、メールアドレス  FAX E-mail |
| 9)対象プラスチック　(複数可、□にチェックをつけてください)  □プラスチック類全般 □PETボトル □容器包装プラスチック類  □発泡スチロール □その他プラスチック |
| 10) 対象廃棄物　(複数可)  □家庭系廃棄物 □事業系廃棄物 □産業廃棄物 □有害廃棄物 □不法投棄、ポイ捨て等 □医療系廃棄物 |
| 11) 技術の種類  □分別、選別技術 □収集、運搬に関する技術 □メカニカルリサイクル  □ケミカルリサイクル □サーマルリサイクル □その他リサイクル □代替技術（温暖化対策、脱プラスチック等） □焼却技術 □最終処分（埋立）技術 □モニタリング、評価・分析等に関する技術 |
| 12)サービスの種類  □プラント建設 □機械・機器販売 □運営・管理・保守 □技術指導、技術/ライセンス供与 □モニタリング、調査・分析 □環境影響評価 □コンサルティング |
| 13)特長・優位性  □処理コスト（経済性 □再生材等の販売（経済性） □維持管理コスト（経済性） □エネルギー消費（経済性）□処理能力（量）（技術特性）□再生材等の質（技術特性） □操作の簡便性（技術特性）□費用対効果（技術特性）  □排水、排ガス、残渣処理（技術特性） □知見、経験、ノウハウ等の蓄積（技術特性） □安全性（技術特性） □機器・機材の寿命（技術特性）□資源回収量・質（現地適応性） □維持管理（部品調達、バリューチェーン等）（現地適応性） □操作の簡便性（現地適応性） □エネルギー消費（現地適応性） □３R/資源効率（環境負荷低減効果） □気候変動対策（環境負荷低減効果） □海洋プラスチック対策（環境負荷低減効果） |
| 14)想定/実績エリア  □日本 □東南アジア □中央、南アジア □中国、東アジア □アフリカ □オセアニア □欧米 □中南米 |
| 15) 上記の具体的国名、その他顧客、規模、予算、導入実績など |
| 16) 解決できるSDGs項目 (番号を丸で囲んでください)  1．貧困をなくそう 2．飢餓をゼロ 3．すべての人に健康と福祉を  4．質の高い教育をみんなに 5．ジェンダー平等を実現しよう  6．安全な水とトイレを世界中に 7．エネルギーをみんなに そしてクリーンに  8．働きがいも経済成長も 9．産業と技術革新の基盤をつくろう  10．人や国の不平等をなくそう 11．住み続けられるまちづくりを  12．つくる責任 つかう責任　13．気候変動に具体的な対策を14．海の豊かさを守ろう  15．陸の豊かさも守ろう16．平和と公正をすべての人に  17．パートナーシップで目標を達成しよう" |
| CE-MVC研究会への御要望、コメントなど |

書く欄が足りない場合は、これ以降に、番号を書いた、ご記載ください。

|  |
| --- |
|  |